

実践事例① 《見通し1：学級活動》

1 題材名 よく聞き、よく話しながら、人と上手にかかわろう

2 本時の展開

(1) ねらい

「無関心な聞き方」と『あいう』を使った聞き方の対比から、真剣に聞くこと、聞いてもらうことを体験しそのよさを実感することで、児童の受容的・共感的態度を育成する。

(2) 準備 事前に自分の趣味などが書かれたシート、振り返りシート

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 今日の授業のねらいを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師のモデル提示（「無関心な聞き方」）を見る。 次に教師のモデル提示（K先生、S先生のやりとり：『あいう』を使った聞き方）を見る。 「無関心な聞き方」と『あいう』を使った聞き方の違いから互いに気持ちよく過ごすにはどうすればよいか意見を交流する。 <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">自分の考えを述べる場面 『あいう』を生かす場面</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">相手の考えを聞く場面 『あいう』を生かす場面</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">相手と自分の考えを交流する場面 『あいう』を生かす場面</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> しっかり相手の方を見て聞いたりうなずいたりすると安心する。 「それいいね」「ぼくもやってみたい」「それ楽しそうだね」「手をたたいて喜ぶ」「笑顔で聞く」などの言葉がけやしぐさがあるとお互いに気持ちよく過ごせそう。 </div>	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動がイメージできるように「無関心な聞き方」と『あいう』を使った聞き方のモデルを教師が実際に示す。 K先生：話しかける役、S先生：聞き役（児童に役をやらせてもよい。） 「無関心な聞き方」では、無視や相手を否定するようなことをわざと聞き役が相手の教師に言う。 『あいう』を使った聞き方では、「それいいね」や「ぼくもやってみたい」などの言葉掛けや「手をたたいて喜ぶ」「笑顔で聞く」などのしぐさを受容的・共感的な態度で教師が意図的に行う。 「無関心な聞き方」と『あいう』を使った聞き方について感想をK先生や児童に聞く中で、互いに気持ちよく過ごすにはどうすればいいか意見交流の場を設ける。 教師が感想を言う場合は、相手の教師のいいところを言うなど、『あいう』について考える場面につなげるようにする。 <div data-bbox="842 1370 1321 1731" style="text-align: center;"> </div>
<p>2 自分の趣味などが書かれたシートを用いて、「無関心な聞き方」と『あいう』を使った聞き方を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「無関心な聞き方」を二人組みで体験する。 ①右の人が、自分の趣味などを話す。 ②左の人が、「無関心な聞き方」を体験する。 	<p>20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 質問なども自由にしてよいが、質問している人がいつの間にか自分の事ばかりしゃべることのないよう『あいう』と今日の学習のねらいを必要に応じて確認する。

③右と左の役割を交代する。

・『あいう』を使った聞き方」を体験する前に気持ちをほぐして話しやすい雰囲気にするためにアイスブレイキングをおこなう。(お絵かきスクイグル)

・『あいう』を使った聞き方」を二人組みで体験する。

①右の人が、自分の趣味などを話す。

②左の人が、『あいう』を使った聞き方」を体験する。

③右と左の役割を交代する。

児童の反応

- ・『あいう』を使って真剣に聞いてもらえると気持ちがいいな。
- ・何だか仲良くなった気がする。
- ・もう少し〇〇の時、言い方を変えれば良かったな

自分の考えを述べる場面
『あいう』を生かす場面

相手の考えを聞く場面
『あいう』を生かす場面

相手と自分の考えを交流する場面
『あいう』を生かす場面

3 今日学習の振り返りを行い、次時の授業内容(『さわやかさん』を使った授業)を知る。

10分

・児童の振り返りの発言を取り入れながら、本時のまとめをする。

◎なるほどと思った意見については、書き加えたり、自分の意見を修正したりしてよいことを伝える。

◎いきなり会話を始めず、アイスブレイキングを取り入れて話しやすい雰囲気をつくる。アイスブレイキングも『あいう』を用いた大事な活動であることを伝える。

◎うまく活動ができていない児童には、自分の趣味などは、全部言わなくても『あいう』の大切さが分かったり、使えるようになったり、今後意識して使えるようになったりしていけばよいことを伝える。

◇今日の学習のねらいに沿って活動している。

「『あいう』を使って、受容的・共感的態度で人と接しようとしているか。(活動の様子、発言、ワークシートの記述)

はばたく群馬の教育プランとの関わり
○「聞き合い」「分かり合い」「発言を受け入れる」
「自分の言いたいことを適切に表現すること」



(4) 板書計画

『あいう』を使って人と上手に関わろう

・体けんの感そうやあいてのいいところ

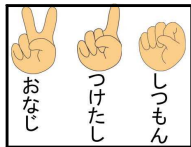
今日学んだことなど

-
-
-

「なるほど」「すごい」「いっしょにやろう」「いいね」「大丈夫だよ」「笑顔で聞く」「手をたたいて喜ぶ」



教室掲示



『あいう』を使って人と上手に関わろう
 4年()組()番 名前()



どんな場面で、どんなふうに『あいう』を使えたか、ふりかえって書いてみよう。(自分のことや友達のこと)

(友達の発表を聞いていいなと思ったことは、どんな書いておくといいよ。)

①数字に○をつけて下さい。

A. あいての顔を見て会話ができましたか。	1. よくできました	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった
B. あいてのいいところを見つけましたか。	1. よくできました	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった
C. うなずきながら会話ができましたか。	1. よくできました	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった
D. あいてに質問したり、感想を言ったりしながら会話ができましたか。	1. よくできました	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった

4年 名前()



好きな本
 (マンガ、アニメ、小説など)

好きなテレビ
 ()

行ってみよう

今ががんばっていること

よくあそぶあそび

その他、話すネタになりそうなもの
 ()

たくさん友達と話そう!!

実践事例② 《見通し2：学級活動》

1 題材名 自分も相手も大切にして、人と上手にかかわろう

2 本時の展開

(1) ねらい

「自分も他の人も大切にする」という『さわやかさん』を活用することによって、自他を尊重する態度を育成する。

(2) 準備 ワークシート、振り返りシート

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時の『あいう』の振り返りと今日の学習内容を知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の『あいう』を振り返る。 ・K先生とS先生で、シナリオAのモデルを示す(ロールプレイ：本を借りたい子をK先生、本を貸す子をS先生の見本を示す)ことで、どのやりとりが互いに気持ちよく過ごせるか、ハンドサインを児童に使わせて考えさせる。 ①『いばりやさん(やだよそんなの)』 ②『えんりょやさん(い、いいよ)』 ③『さわやかさん』(言い方の例は、ワークシート参照)』
<p>2 『さわやかさん』を使って、シナリオB、C(シナリオCは児童が考える)を解決してみる。(ワークシート参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは自分の考えを書く。(5分) <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">自分の考えを述べる場面 『あいう』と『さわやかさん』を生かす場面</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞く。(10分) <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">相手の考えを聞く場面 『あいう』と『さわやかさん』を生かす場面</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・班で意見交流をする。(15分) <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">相手と自分の考えを交流する場面 『あいう』と『さわやかさん』を生かす場面</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>児童の反応 《シナリオB》 なにか急いでいるの?でも、みんな並んで待っているから、後ろに並んで待とう。ありがとね。 《シナリオC》 今、気になっている○○のことや、以前、気になっていた△△のことについてみんなの考えを聞きたいな。</p> </div>	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが書けた児童は、シナリオCを自分で作るよう伝える。 ・クラスの中で『あいう』と『さわやかさん』を上手に使っている児童がいたら、賞賛することによって、他の児童にも『あいう』と『さわやかさん』を意識させる。 ・はやく書けた班は、実際にやってみて、本当に『さわやかさん』になっているかどうか、意見交流するよう伝える。 ◎自分の意見が言いづらそうな児童には、みんなの意見を聞いた感想だけでも伝えるとよいことを促す。 ◇『さわやかさん』を使って自他共に尊重する態度で人と接しようとしているか。 <p style="text-align: center;">(活動の様子、発言、ワークシートの記述)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">はばたく群馬の教育プランとの関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「聞き合い」「分かり合い」「発言を受け入れる」 「自分の言いたいことを適切に表現すること」 </div>
3 今日の学習の振り返りを行い、次時の授業内容(『あいう』と『さわやかさん』を他の授業《教科》でも意識して使う)を知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の振り返りの発言を取り入れながら、本時のまとめをする。 ◎なるほどと思った意見については、書き加えたり、自分の意見を修正したりしてよいことを伝える。

(4) 板書計画

教室掲示



『さわやかさん』を使って人と上手に関わろう
 (自分も相手も大切に)

『さわやかさん』

「自分も相手も大切に」

『あいう』

あいてを 見て話す
 いい ところを 見つけて相手に伝える
 う なずきながら 聞く


『あいう』も
わすれずに

「なるほど」「すごい」「いっしょにやろう」「いいね」「大丈夫だよ」「笑顔で聞く」「手をたたいて喜ぶ」

今日学んだことや感そう

『さわやかさん』を使って人と上手に関わろう 4年()組()番 名前()		
シナリオ	①「自分の考え」や「②友達への考え」 *なるほどと思ったらメモをとろう!!	③意見交流(班やクラスの考え) *なるほどと思ったらメモをとろう!!
<p>A. 前から読みかかった本を、やっとわかることができました。休み時間に読んでいたら、友だちに「その本、かして。」と言われました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やっとわかりられた本なので、今読みたいんだ。後でかすね。」 ・「ごめんねをつけるといいと思う。」 ・「後でをいつになるか伝えると相手が安心すると思う。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やっとわかりられた本なので、今読みたいんだ。ごめんね。次の昼休みにかしたいんだけどそれでいい?」 ・「かりる方も「今読みたい」など言わず、相手の気持ちを考えることが大切だと思います。」
<p>B. 連らくちょうを先生に見せるためにならんでいたら、〇〇くんが自分の前にわりこんできました。</p>		
<p>Bが終わったら班で、やってみよう。</p>		
<p>C. 班でシナリオを書いて友達といっしょに解決方法をさがってみよう。</p>		
(シナリオ)	(解決方法)	

『さわやかさん』を使って人と上手に関わろう
4年()組()番名前()



『さわやかさん』

「自分も相手も大切に」

『あいう』

あ いてを 見て話す

い ところを 回ついで相手に伝える

う なずきながら聞く

↑ あいうも忘れずに

①数字に○をつけて下さい。 A. あいての顔を見て会話ができましたか。 B. あいてのいいところを見つけてきましたか。 C. うなずきながら会話ができましたか。 D. あいてに質問したり、感想を言ったりしながら会話ができましたか。 E. 自分も相手も大事にする『さわやかさん』を使って会話ができましたか。	1. よくできました 1. よくできました 1. よくできました 1. よくできました 1. よくできました	2. できた 2. できた 2. できた 2. できた 2. できた	3. あまりできなかった 3. あまりできなかった 3. あまりできなかった 3. あまりできなかった 3. あまりできなかった	4. まったくできなかった 4. まったくできなかった 4. まったくできなかった 4. まったくできなかった 4. まったくできなかった
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

② どんな場面で、どんなふうにも『あいう』や『さわやかさん』を使ったか
ふりかえって書いてみよう。(自分のことと友達のこと)

実践事例③－1 《見通し3：学級活動》

1 題材名 『あいう』と『さわやかさん』を使って互いの考えを交流し、協力することの大切さを学ぼう

2 本時の展開

(1) ねらい

『あいう』と『さわやかさん』を使って（受容・共感・自他尊重を大切にしながら）互いの考えを上手に交流する。

(2) 準備 振り返りシート、北小マンション ①マンションの白紙図…一グループ一枚

②情報カード) 一グループ一セット ③約束事 (ポイントだけ示す：拡大掲示)

④解答 (拡大掲示)

*実際に北小の先生方の名前を入れてもよい

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 今日の授業のねらいと学習内容を知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習は、人と上手に交流し、協力することの大切さを体験を通して学ぶために、『あいう』と『さわやかさん』を使っておこなうというねらいを明確にしておく。
2 《北小マンション：何先生がどこに住んでいるか》を『あいう』と『さわやかさん』を用いながら行う。	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意見を出しやすいように4～5人の班で活動させる。 ・何も書き入れてないマンションの図とカード、振り返りシートを取りにくるよう指示する。 ・活動の仕方と約束を一つ一つ順を追って説明する。 <p style="text-align: right;">(ルールの遵守と規範意識の徹底)</p>

(課題)
北小の先生が住んでいるマンションがあるとします。どの部屋に、どの先生が住んでいるか、カードに書かれた情報をもとにマンションの図に先生の名前を書き入れましょう。『あいう』と『さわやかさん』を上手に使って協力してマンションの図を完成させることが今日の学習のねらいです。

【約束】
①カードを表にして、カードの枚数が大体同じになるようにみんなに配ります。
②自分がもらったカードを人に見せながら読みあげます。人に見せてもいいですが、必ず自分で読みあげましょう。
③グループの人に質問したり、相談したりするのは自由です。『あいう』と『さわやかさん』を上手に使って交流して下さい。
④時間は、20分間です。5分前と3分前になったら知らせます。解けなかったとしても、一生懸命取り組み、『あいう』と『さわやかさん』の大切さが分かってくればOKです。ワークシートに答えが書けた班は、机をもとにもどし、後で全体で答え合わせをするので、振り返りシートを書いて今日の学習の振り返りをして下さい。

・クラスの中で『あいう』と『さわやかさん』を上手に使っている児童がいたら、賞賛することによって、他の児童にも『あいう』と『さわやかさん』を上手に使うことを意識させる。

相手の考えを聞く場面
『あいう』と『さわやかさん』を生かす場面

相手と自分の考えを交流する場面
『あいう』と『さわやかさん』を生かす場面

はばたく群馬の教育プランとの関わり
○「聞き合い」「分かり合い」「発言を受け入れる」
「自分の言いたいことを適切に表現すること」

・『あいう』と『さわやかさん』を上手に使うと、みんながまとまって、話しやすいな。

◎なるべく成功体験をさせてあげたいので、時間を見ながらヒントを出してあげてもよい。

◇今日の学習のねらいに沿って活動している。

ねらい
『あいう』と『さわやかさん』を使って、受容・共感・自他尊重を大切にしながら交流する。

学習指導要領
中学年の重点目標：「協力し合おうとする人間関係」の育成
【共通事項：(2)のウ】

3 振り返り

10分
・児童の振り返りの発言を取り入れながら、本時のまとめをする。(『あいう』と『さわやかさん』をどんな場面で、どのように活用出来たか)
◎なるほどと思った意見については、書き加えたり、自分の意見を修正したりしてよいことを伝える。

(4) 板書計画

教室掲示



「なるほど」「すごい」「いっしょにやろう」「いいね」「大丈夫だよ」
「笑顔で聞く」
「手をたたいて喜ぶ」



『あいう』と『さわやかさん』を使って、協力することの大切さを学ぼう

北小マンション()はん

「く」 先生	「し」 先生	「き」 先生	エレベーター	「う」 先生
「さ」 先生	「え」 先生	「け」 先生		「い」 先生
「か」 先生	「お」 先生	「あ」 先生		「こ」 先生

児童の発表を板書する

今日学んだこと

- ・『あいう』と『さわやかさん』を上手にを使って、自分の言いたいことをきちんと伝えたり、相手を大切にすることが分かりました。
- ・『あいう』と『さわやかさん』を上手に使うとみんながまとまって、話しやすかった。 など

【情報カード】

1. 「か」先生は、1階の一番はじに住んでいる	2. 「お」先生の両どなりには、「か」先生、「あ」先生が住んでいる
3. 「き」先生は、エレベーターの左どなりに住んでいる	4. 「く」先生、「え」先生、「あ」先生の部屋はななめに一直線にならんでいる
5. 「け」先生と「い」先生はエレベーターをはさんでどなり同士である	6. 「う」先生と「く」先生は、同じ階に住んでいる
7. 「い」先生の部屋は「こ」先生と「う」先生の上下ではさまれている	8. 「さ」先生の右ななめ上に「し」先生が住んでいる
9. 「お」先生の1つ上に「え」先生が住んでいる	10. 「し」先生と「き」先生は、どなり同士である
11. 「け」先生は、「さ」先生の2つ右に住んでいる	12. 「く」先生と「さ」先生と「か」先生は、同じ列(たて)に住んでいる
13. 「さ」先生は、エレベーターからはなれたところに住んでいる	14. 「う」先生は、「か」先生の部屋から一番はなれた部屋に住んでいる

『あいう』と『さわやかさん』を使って、協力することの大切さを学ぼう
4年()組()番名前()



①数字に○をつけて下さい

A. あいつの顔を見て会話ができましたか。	1. よくできた	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった
B. あいつのいいところを見つけてきましたか。	1. よくできた	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった
C. うなずきながら会話できましたか。	1. よくできた	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった
D. あいつに質問したり、感想を言ったりしながら会話ができましたか。	1. よくできた	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった
E. 自分も相手も大事にする『さわやかさん』を使って会話ができましたか。	1. よくできた	2. できた	3. あまりできなかった	4. まったくできなかった

②
どんな場面で、どんなふうに『あいう』と『さわやかさん』を使ったか
ふりかえって書いてみよう。(自分のことや友達のこと)

実践授業③－2 《見通し3：教科：算数科》

単元名 広さを調べよう

- ねらい 『あいう』と『さわやかさん』を使って、いろいろな解き方についての意見を交流し、複雑な図形でも正方形や長方形をもとにして面積を求めることができる。
- 準備 ワークシート、振り返りシート、面積図（掲示用拡大図と発表用）、操作活動ができるように課題の図が書かれた画用紙を各班に数枚、ヒントカード、各班に発表用のマジックペン
- 展開

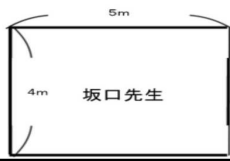
学習活動 予想される児童の反応 ◇評価	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <p>【か題】 K先生と坂口先生が土地を分けることにしました。どちらの先生の土地が広いでしょうか。</p> <p>・どちらの先生の土地の方が広いか予想する。</p> <p>2 坂口先生の土地の広さを求める。</p> <p>・坂口先生の方が横が5mで、3mより長いから広そ</p>	<p>前時 45分</p>	

うだぞ。

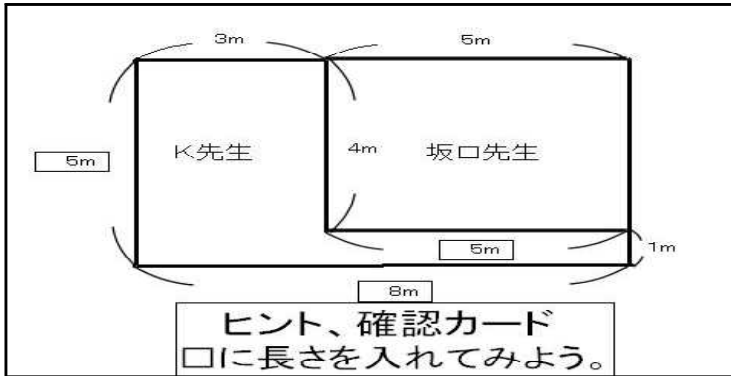
- ・ K先生の方が横に伸びているから広そうだぞ。

【坂口先生】

坂口先生の土地の広さを求めましょう。



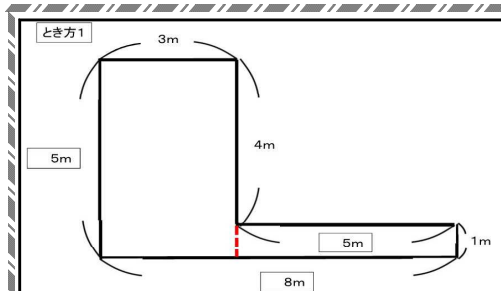
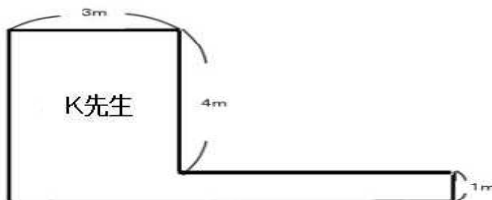
式 $4 \times 5 = 20$
答え 20m^2



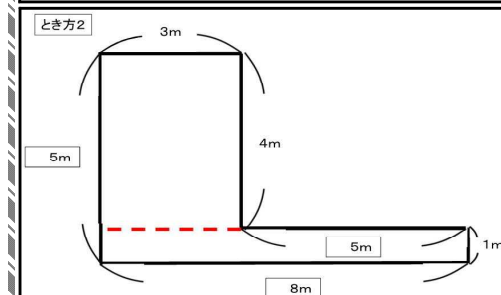
- 1 K先生（L字型の面積）を求めよう。
(個人→班→学級全体)

【K先生】

K先生の土地の広さをいろいろな方法で求めましょう。



式 $5 \times 3 + 1 \times 5$
 $= 15 + 5$
 $= 20$
答え 20m^2



式 $4 \times 3 + 1 \times 8$
 $= 12 + 8$
 $= 20$
答え 20m^2

- ・ 既習事項の確認（長方形の面積の出し方）になるので、坂口先生の土地を先に扱う。

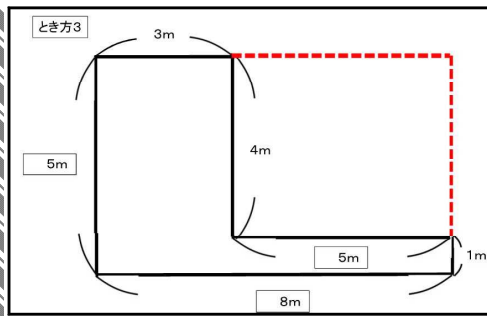
- ・ ヒント、確認カード
L字型の辺の長さが書き込める穴埋めのカードを配る。

本時 4 5 分

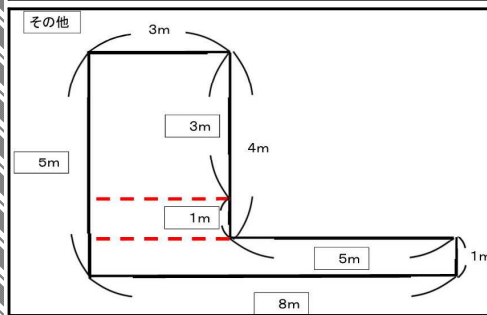
- ・ 今日の学習は、『あいう』と『さわやかさん』を使って、【か題】をみんなで協力して解決することを伝える。
- ・ 一つ考えられた児童は、他にも解き方がないか考えるよう指示する。
- ・ その他の考え方（細かく分けるような考え方など）が出てきたら、賞賛した上で、「もっと分かりやすく、簡潔に解決する方法はないか」という視点で考えさせる。
- ・ クラスの中で『あいう』と『さわやかさん』を上手に使っている児童がいたら、賞賛することによって、他の児童にも『あいう』と『さわやかさん』を上手に使うことを意識させる。

【賞賛する観点参照】

- ・ 児童が考えた解法の中から、黒板に図だけが書かれたものや式だけが書かれたものを掲示することで、ヒントにしたり、自分の考えが正しいかどうか確認させたりする。

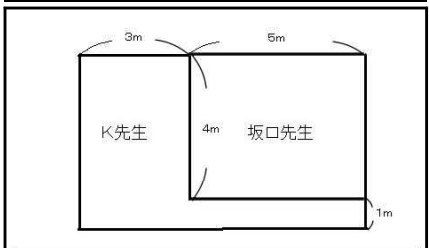


式 $5 \times 8 - 4 \times 5$
 $= 40 - 20$
 $= 20$
 答え 20m^2



《ヒント発問①》
 今まで習った図形の中で、面積の求め方を知っている図形は、何ですか。(既習事項から解き方を探る)
 [正方形、長方形]
 [正方形・・・一辺×一辺、長方形・・・たて×横]

《ヒント発問②》
 K先生の土地の面積を求める問題で、とき方3の引いて考える方法が出てこない場合は下のような発問をする。



ヒント発問②
 上の図の中に長方形はいくつかくれているでしょう。

相手と自分の考えを交流する場面
 『あいう』と『さわやかさん』を生かす場面

はばたく群馬の教育プランとの関わり
 ○「聞き合い」「分かり合い」「発言を受け入れる」「自分の言いたいことを適切に表現する」
 ○「比較・検討(深める活動)を上手に行うために、それぞれの方法や考えを類型する」

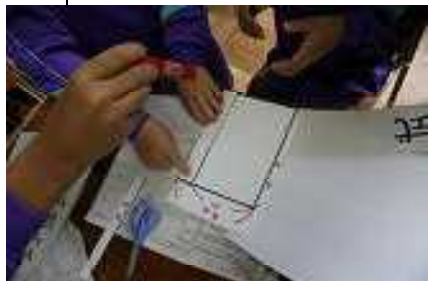
- ◇正方形や長方形に分けて考えたり、正方形や長方形を使って全体から一部を引いて考えたりしている。
- ◇『あいう』と『さわやかさん』を使って交流している。(ワークシート・ハンドサイン・発表・交流の様子)

3 学習のまとめと振り返りをする。
 ・本時のまとめをする。

(本時のまとめ)
 正方形や長方形で考えて面積を求める。

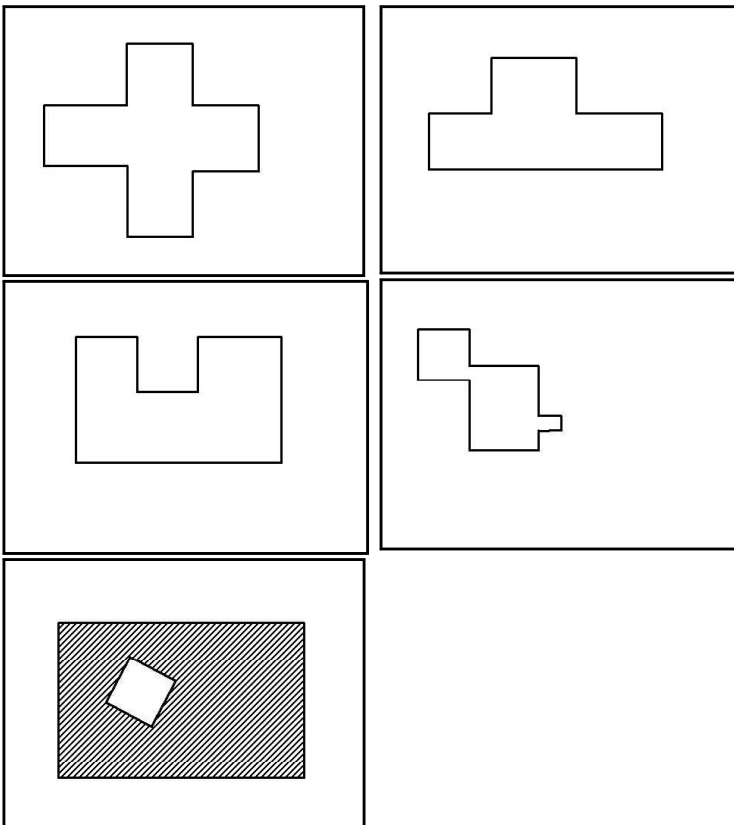
・『あいう』と『さわやかさん』に関する本時の自分自身の振り返りをする。

- ・『あいう』と『さわやかさん』を使うと話し合いがスムーズにいく。
- ・気分良く自分の考えをみんなに説明できたり、友達の説明を聞くことができた。
- ・解き方を班の子に説明する場面で、相手の顔を見て真剣に聞くことができた。



・どの考えも《分けて考える方法》や《引いて考える方法》に帰着し、《正方形や長方形にして考える》というまとめにつながることを確認する。

1 さまざまな複合図形の面積を求める。



- ・正方形や長方形を組み合わせた複合図形を作問し、まずは、自分で解いてみる。(問題に必要な長さを書き入れ、式と答えを求める。)
- ・児童が自分で作問した問題を友達と交換して解き、演習問題として習熟する。

相手と自分の考えを交流する場面
『あいう』と『さわやかさん』を生かす場面

- はばたく群馬の教育プランとの関わり
- 「聞き合い」「分かり合い」「発言を受け入れる」
「自分の言いたいことを適切に表現する」

次時
4 5
分

・どの複合図形も《分けて考える方法(移動させる方法を含む)》または、《引いて考える方法》に帰着し、どちらも【正方形や長方形で考えて面積を求める】ことにつながることを演習問題を通して習熟させる。

- ・児童自身が作問することによって「正方形や長方形をもとにすること」「正方形や長方形の辺の長さが分からないと解けないこと」を感得させる。
- ・算数科としての学習内容の習熟はもちろん、学び合いや本研究の交流する場面でも、『あいう』と『さわやかさん』を上手に使用して学び合うよう声かけをする。
- ・クラスの中で『あいう』と『さわやかさん』を上手に使っている児童がいたら、賞賛することによって、他の児童にも『あいう』と『さわやかさん』を上手に使うことを意識させる。

【賞賛する観点参照】

【賞賛する観点】

算数専科、TT、四学年の先生方へ

*次のような場面(『あいう』や『さわやかさん』を使っている場面)が見られたら、わざと周りに聞こえるように児童を褒めてあげてください。

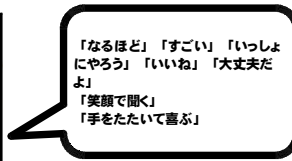
- ・相手をみて真剣に聞いている場面が見られた時(『あいう』の『あ』の場面)
- ・「それいいね」など、相手のいい所を見付けている場面が見られた時(『あいう』の『い』の場面)
- ・うなずきながら相手の話を真剣に聞いている場面が見られた時(『あいう』の『う』の場面)

【『さわやかさん』などの場面が見られた場合】

- ・児童同士が認め合ったり、賞賛し合ったりしている場面が見られた時
- ・間違った発言をしても責めずにやさしく接する場面が見られた時

- ・「そうそれでいいよ」「あっ、ぼく（わたし）と同じだ」と受容や共感している場面が見られた時
- ・「〇〇君先にやっていいよ。次、私にやらせて」など、自他尊重する態度が見られた時 など

板書計画



今日の学習 どちらの土地の面積が広いか『あいう』と『さわやかさん』を上手に使ってみんなで解決してみよう

【か題】
木暮先生と坂口先生が土地を分けることにしました。どちらの先生の土地が広いでしょうか。

坂口先生
坂口先生の土地の広さを求めましょう。

式 $4 \times 5 = 20$
答え 20m^2

木暮先生
木暮先生の土地の広さをいろいろな方法で求めましょう。

式 $3 \times 3 + 1 \times 5 = 15 + 5 = 20$ 答え 20m^2

式

木暮先生と坂口先生、どちらが広いか？
(答え 同じ)

今まで習った図形の種類の出し方【正方形】【長方形】

【正方形】
一辺×一辺

【長方形】
たて×横

まとめ
正方形や長方形をもとにして面積を求めるとよい。

算数 4年 () 組 () 番
名前 ()
今日の学習
どちらの土地の面積が広いか『あいう』と『さわやかさん』を上手に使ってみんなで解決してみよう

【か題】
K先生と坂口先生が土地を分けることにしました。どちらの先生の土地が広いでしょうか。

坂口先生
坂口先生の土地の広さを求めましょう。

式
答え

K先生
K先生の土地の広さをいろいろな方法で求めましょう。

図	式	答え

まとめ
K先生と坂口先生、どちらが広いか？
()